

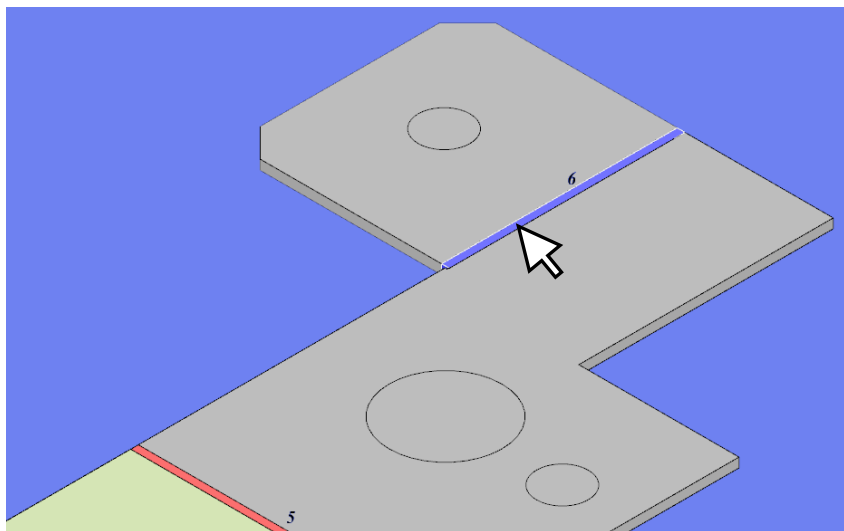


Version18 新機能

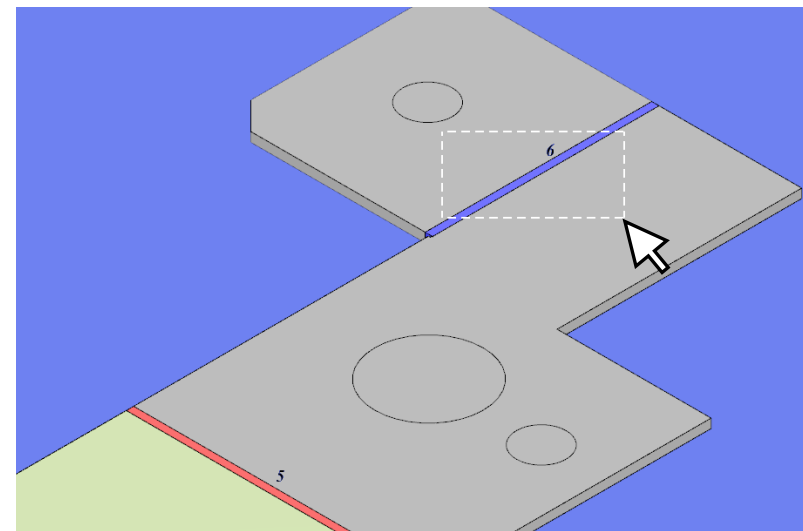
① 曲げ順設定のウィンドウ選択

曲げ順を指定する際の曲げ選択を容易にするため、MACsheet BENDではマウスでドラッグして曲げに触れるウィンドウを描くことで選択できるようになりました。

以前のバージョンではクリックする必要がありました。



V18ではウィンドウを描いて選択できます。



② NC生成時のグラフィックサイズの調整

グラフィックファイル(.png)を必要とするNC出力時、.pngファイルのサイズ調整が可能になりました。
また、従来は金型(パンチ、ダイ)のみの表示でしたが、中間板やレールも表示ON/OFFが可能になりました。

出力およびフォルダ 複数の出力とフォルダ NCパラメータ

NC 名称テンプレート名称: Part name

NCファイルフォルダ: もし指定しなければ、C:\Metalix\MB_DATA_V18\Output は使用されます。

☐ NCファイルの相対フォルダパスを使用

ルートフォルダ:

デフォルトレポート: Side Views 6x Barcode-01 (日本語)

☒ NCグラフィックスの生成

☒ プレビュー画像

☒ 曲げ時の画像

☒ NC画像カスタムサイズ

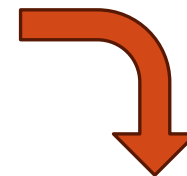
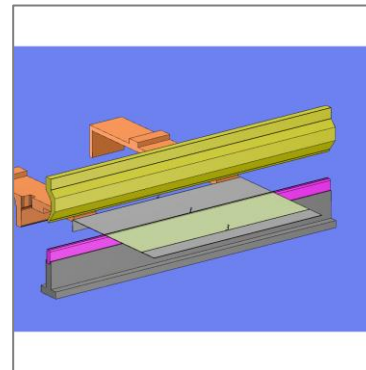
NC画像の幅: 1280

NCプレビュー画像の高さ: 720

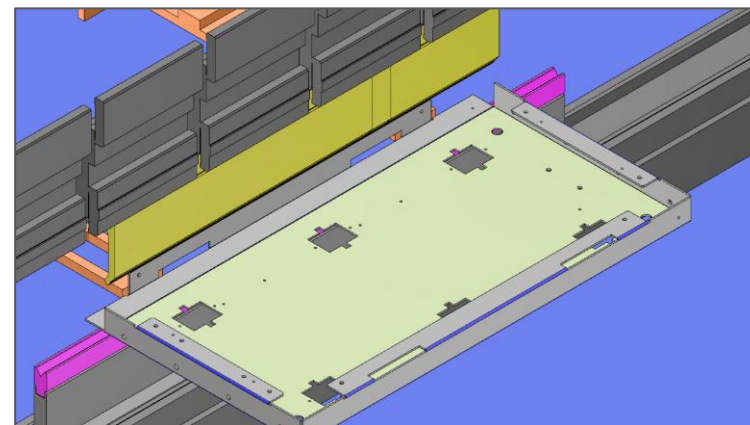
NCビュータイプ: 現在の

出力タイプ	NC	レポート
パーツ、金型、突き当て	☒	☒
フレーム	☐	☐
テーブル	☒	☒
クランプ	☒	☒
ホルダー	☒	☒
XDOs	☐	☐

従来の400x400ピクセル



1280x720に変更+中間板の表示追加



③ 自動バッチ処理 ツールセットアップ最適化

バッチ処理はツールセットアップ最適化によって強化されました。

作業者が特定のワーク群を加工するためにセットアップ数を最小限に抑えようとします。

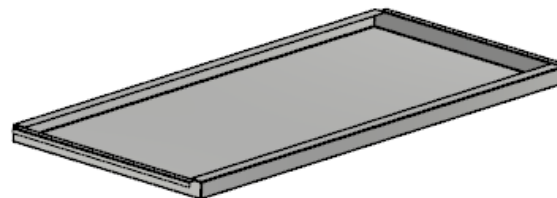
☒ セットアップを最適化

☒ パーツの並び替え Bend length + Thickness increasing

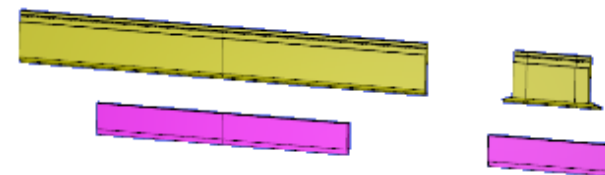
試行するセットアップの数: 3

セットアップトライアル: すべての構成

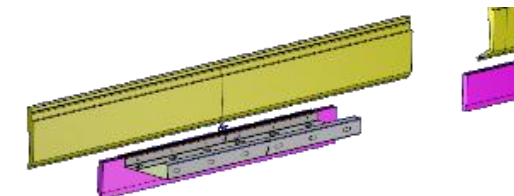
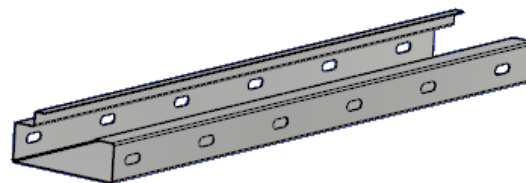
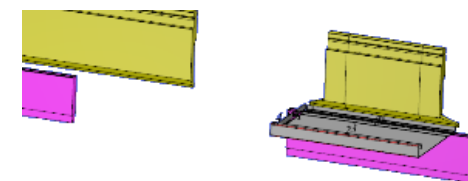
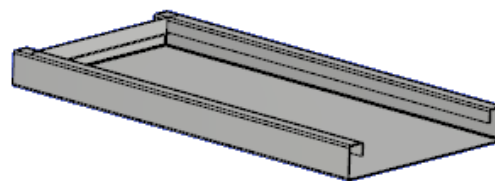
このワークを加工するために...



2つのステーションが必要です。



その後のワークを処理する際に、MBENDは同じセットアップを使用しようとします。



これはグループ全体でセットアップを再利用し、前の処理に使ったセットアップと連続する各パーツをテストすることで行われます。

さらに、グループ内のパーツをソートしてセットアップの再利用化を最大化することも可能です。(右図参照)

④ 自動バッチ処理 事前検証機能

自動処理実行前に、パーツの確認及びプレビューができるようになりました。

グループ 1

記述:

材質: 3 SPCC

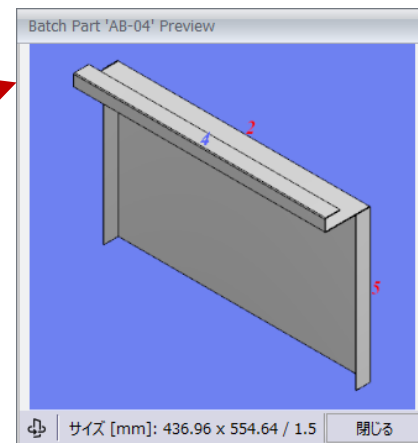
DXF設定: BBX

DXF用の板厚: 1.0

3D

グループに含まれるファイル

ファイル	ステータス	タイプ	フォルダ	数量	材.	板厚	Longest...	# Bends	N...	O...
AB-01	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.00	300.00	4		...
AB-02	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.00	2,700.00	4		
AB-03	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.50	200.00	2		
AB-04	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.50	496.60	5		
AB-05	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.20	840.00	5		
AB-06	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	4.50	200.00	2		
AB-07	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	1.20	500.00	4		
AB-08	✓	Validated	MBCAM	C:\Metal...	9999	2.30	1,200.00	2		



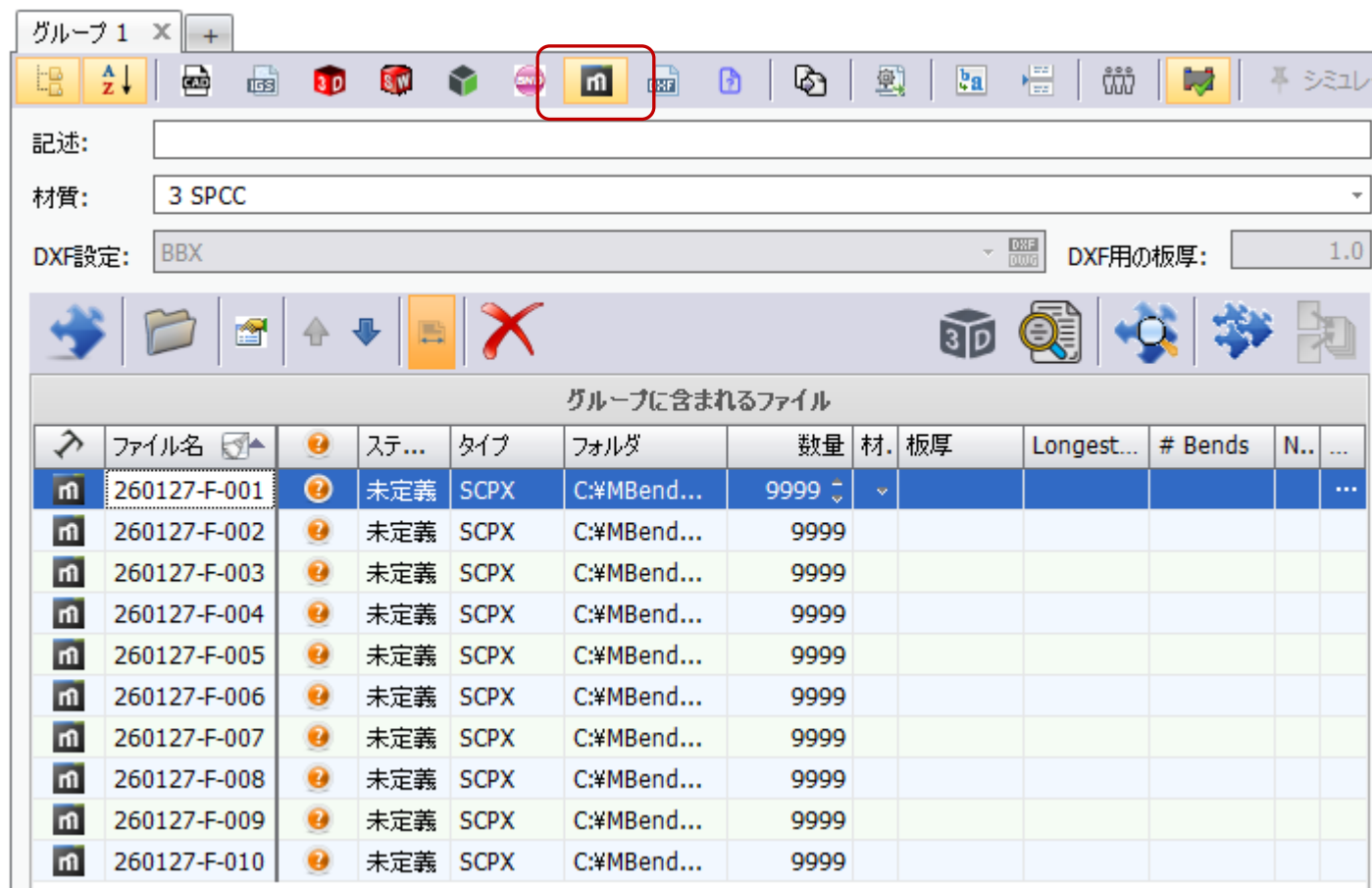
インポートした2D DXFを3Dで
確認可能

事前検証ボタンをクリックすると、インポートしたパーツを確認し、材質、板厚、曲げ長さを一覧表示します。

パーツは並べ替えやフィルター処理ができ、異なる設定で処理するために個別のグループへ移動できます。

⑤ 自動バッチ処理 SCPXファイル対応

自動バッチ処理にて、SCPXファイルも対応可能になりました。



※SCPXは村田機械(株)のファイルフォーマットです。

⑥ SolidWorks2025のネイティブデータがインポート可能

V18では、SolidWorks2025で作成されたネイティブデータのインポートが可能になりました。

※.sldprtのインポートにはオプション機能が必要です。

